

富山経協



フイリソシンカ (解説・13ページ)

CONTENTS

- 2 2020年春季労使交渉にあたり
経営側の基本スタンス
- 3 連合の方針への見解
- 4 調査報告
2019年冬季賞与支給結果 (最終集計)
- 5 労働指標
- 6 Top Interview
富山村田製作所 菅原史也社長
- 8 新春互礼会 (報告)
- 9 事業活動報告
- 9 委員会活動
- 10 講座・セミナー
- 11 参加者NOTES
- 12 会員の動き
- 14 おしらせ・事業予定

2020年 春季労使交渉にあたり

経営側の基本スタンス

企業は、Society 5.0 時代に向けた新たな働き方と生産性向上を実現させながら、競争力強化と収益拡大を図り、生み出された成果をさまざまなかたちでの処遇改善に活用していくことで、働き手のエンゲージメントを一層高め、さらなる生産性向上へとつなげていく「社内の好循環」を回すことが求められています。

そのうえで、生産性向上による収益拡大を社員へ還元する「賃金引き上げ」と、職場環境の整備や能力開発に資する「総合的な処遇改善」を車の両輪とし、多様な選択肢のなかから自社に適した方法と施策を検討・実施していくことが重要です。

「賃金引き上げ」については、さまざまな考慮要素を勘案しながら、適切な総額人件費管理のもと、自社の支払能力を踏まえ、企業が賃金を決める「賃金決定の大原則」に則ったうえで、賃金引き上げのモメンタムの維持に向けて、各社一律ではなく、自社の実情に応じて前向きに検討していくことが基本となります。その際、「基本給」「諸手当」「賞与・一時金」を3つの柱に、多種多様な方法による組み合わせを含めて議論することが望まれます。基本給においては、定期昇給などの制度昇給の実施に加え、水準自体を引き上げるベースアップも選択肢となり得ます。その検討にあたっては、全体的な引き上げのほか、例えば若年層など特定層への重点配分などが考えられます。諸手当では、同一労働同一賃金への対応も考慮し、支給要件などを再確認したうえで、家族手当などの「生活関連手当」と営業手当などの「職務関連手当」に分けて検討することが有効です。賞与・一時金は、短期的な業績や個人の成果・査定結果を支給増のかたちで直接社員に還元しやすいことから、積極的な活用を検討することが考えられます。

「総合的な処遇改善」は、エンゲージメント向上を通じイノベーション創出力を高め、Society 5.0 の実現につながる重要な施策です。企業労使で、これまでの考え方や諸施策にとらわれない幅広い観点から対話を重ね、深化させていくことが求められます。

今後の労使関係のあり方としては、集团的労使関係に加えて、さまざまなチャネル・施策により企業内コミュニケーションを図り、社員との個別労使関係を深めることが重要になっています。今後も、企業労使は「共感と信頼」により、良好で安定的な関係を多層的に深化させる努力が求められています。

今次労使交渉における基本的な考え方

Society 5.0 時代に向けた新たな働き方・生産性向上を実現させながら、競争力強化と収益拡大を図り、生み出された成果をさまざまなかたちでの処遇改善に活用していくことで、働き手のエンゲージメントを一層高め、さらなる生産性向上へとつなげていく「社内の好循環」を回していくことが求められる

「賃金決定の大原則」に則って生産性向上による収益拡大を社員へ還元する「賃金引き上げ」と、働き手の職場環境の整備や能力開発に資する「総合的な処遇改善」を車の両輪として位置づけ、**多様な選択肢のなかから自社に適した方法と施策を検討・実施**していくことが重要

【賃金決定の大原則】

賃金は、さまざまな考慮要素を勘案しながら、適切な総額人件費管理のもと、自社の支払能力を踏まえ、労働組合等との協議を経て企業が決定

連合の方針への見解

「底上げ」「底支え」「格差是正」それぞれで賃金要求指標を掲げるなど要求目的が多岐にわたり、わかりにくい面もあります。このうち、「底支え」の要求指標として挙げている企業内最低賃金協定の締結については、個別企業の判断に委ねるべきと考えます。

連合の春季生活闘争方針（概要）

連合は、「経済の自律的成長」「社会の持続性」の実現のため、分配構造の転換につながり得る賃上げが必要との考えを示しています。そのうえで、生産性三原則（雇用の維持・拡大、労使の協力と協議、成果の公正分配）に基づいた「賃上げ」「働き方の見直し」を求めるとともに、働き方も含めた「サプライチェーン全体で生み出した付加価値の適正分配」に一体的に取り組むことで、社会全体の生産性向上を促し、成果の適正な分配につなげていくとしています。

・月例賃金の要求内容

これまで1項目としていた「底上げ」と「底支え」を分けて、「格差是正」を合わせた3項目ごとに目的と要求を再定義しています。

具体的には、傘下のすべての労働組合に対して、「底上げ」として、定期昇給（賃金カーブ維持）相当分を確保したうえで、名目賃金の到達目標の実現と最低到達水準の確保、つまり「賃金水準の追求」にこだわるとしています。要求水準としては、いわゆるベースアップ分として「2%程度」、定期昇給相当分を含めて要求する場合は「4%程度」としています。

「底支え」としては、企業内最低賃金協定の締結を求め、その際の目標水準は時給1,100円以上を掲げています。

「格差是正」では、企業規模間と雇用形態間のそれぞれにおいて目標水準と最低到達水準を設定し、その到達を目指すとしています。

中小組合（組合員数300人未満）に対しては、「社会横断的水準を確保するための指標」を複数提示し、自組合の賃金と比較して、その到達に必要な額と、賃金カーブ維持相当分を合わせた総額での要求を求めています。賃金実態を把握できない中小組合に対しては、連合加盟組合平均賃金との格差が拡大しない水準として、総額10,500円以上（賃金カーブ維持分4,500円に賃上げ目標金額6,000円を合わせた額）を目安とする要求水準を掲げています。

・賃金以外の要求内容

業種にかかわらず深刻化している人手不足を背景に、企業労使にとって「人材の確保・定着」と「人材育成」に向けた職場の基盤整備が従来以上に重要な課題になると指摘しています。加えて、時間外労働の上限規制や同一労働同一賃金への対応など法令順守はもちろん、有期雇用社員等の雇用安定や高齢者の処遇のあり方、ワーク・ライフ・バランスの実現など、多様な働き方の仕組みを整え、安心・安全で働きがいのある職場の構築に向けて、総体的な議論と協議を呼びかけています。

連合の闘争方針を踏まえ、傘下の産業別労働組合は2月中旬までに統一要求項目等を機関決定します。その後、大手を中心に多くの企業別労働組合が2月中を目途に要求を企業へ提出し、各企業における今年の春季労使交渉が本格的に始まります。

調査報告

2019年 冬季賞与支給結果〈最終集計〉

1. 県内

202社単純平均508,115円
前年比0.09%増加、3年連続のプラス

富山経協は1月21日、「2019年冬季賞与・一時金支給結果（単純平均・最終集計）」をまとめた。集計可能な202社の支給額平均は508,115円で、今回回答のあった企業の前年同期の支給額平均（507,668円）と比べると、金額で447円、率で0.09%増加と、3年続けてのプラスとなった。

業種別では、製造業は前年同期比0.40%減少の511,736円、非製造業は同0.60%増加の504,347円となった。

製造業では12業種中7業種で増加し、食料品・飲料が14.88%、鉄鋼・非鉄金属が10.53%、繊維が10.22%増加と高い伸びとなった反面、その他製造業は9.03%の減少となった。

非製造業では10業種中7業種で増加し、建設が4.43%と増加となった反面、宿泊・飲食・生活関連が32.76%と大きく減少となった。

(表1)

(表1) 県内企業の2019年冬季賞与・一時金支給結果[単純平均]
〔最終集計—2020年1月21日〕 (一社)富山県経営者協会

業 種	社数 (社)	2019年 冬季 支給額 (円)	2018年 冬季 支給額 (円)	前年同期比 (%)
食 料 品 ・ 飲 料	2	540,024	470,067	14.88
織 維	2	218,111	197,880	10.22
木 材 ・ パ ル プ ・ 紙	7	416,153	408,848	1.79
印 刷	3	374,440	351,163	6.63
化 学	20	638,003	616,272	3.53
プ ラ ス チ ッ ク ・ ゴ ム	9	502,768	511,969	△1.80
鉄 鋼 ・ 非 鉄 金 属	5	468,200	423,600	10.53
金 属 製 品	14	410,841	386,379	6.33
汎用・生産機械器具	21	499,315	528,982	△5.61
電子・電気機械器具	10	553,348	593,179	△6.71
輸送用機械器具	5	606,801	634,036	△4.30
その他製造業	5	545,070	599,165	△9.03
建 設	16	561,209	537,385	4.43
電 気 ・ ガ ス	3	558,422	607,697	△8.11
情 報 通 信	12	577,287	574,038	0.57
運 輸	14	430,341	423,991	1.50
卸 ・ 小 売	21	518,674	503,826	2.95
金 融 ・ 保 険	5	554,332	547,777	1.20
宿泊・飲食・生活関連	4	185,390	275,717	△32.76
学術・専門・技術サービス	9	517,669	517,303	0.07
教育・医療・福祉	8	527,738	544,096	△3.01
サービス・その他非製造業	7	433,888	422,069	2.80
総 平 均	202	508,115 (564,470)	507,668 (569,027)	0.09 (△0.80)
製 造 業 平 均	103	511,736 (557,548)	513,769 (565,964)	△0.40 (△1.49)
非 製 造 業 平 均	99	504,347 (575,124)	501,320 (573,651)	0.60 (0.26)

(注)①調査対象489社のうち、集計可能な回答のあった202社の数値である。
②「2018年冬季支給額」は、今回「2019年冬季支給額」の回答があった企業の数値である。
③平均欄の上段は一人当たりの単純平均、下段の()内は一人当たりの加重平均である。

2. 全国大手

150社単純平均830,608円、
前年比プラス0.96%

日本経団連が12月25日に取りまとめた「2019年冬季賞与・一時金 大手企業妥結結果（単純平均・最終集計）」によると、調査対象の全国大手企業（主要21業種、大手251社）のうち、集計可能な150社の妥結額平均は830,608円で、前年同期の最終妥結実績（167社、822,712円）と比べると、7,896円（0.96%）の増加となった。

業種別では、製造業は前年同期比0.50%増加の801,767円、非製造業は同0.93%増加の925,374円となった。(表2)

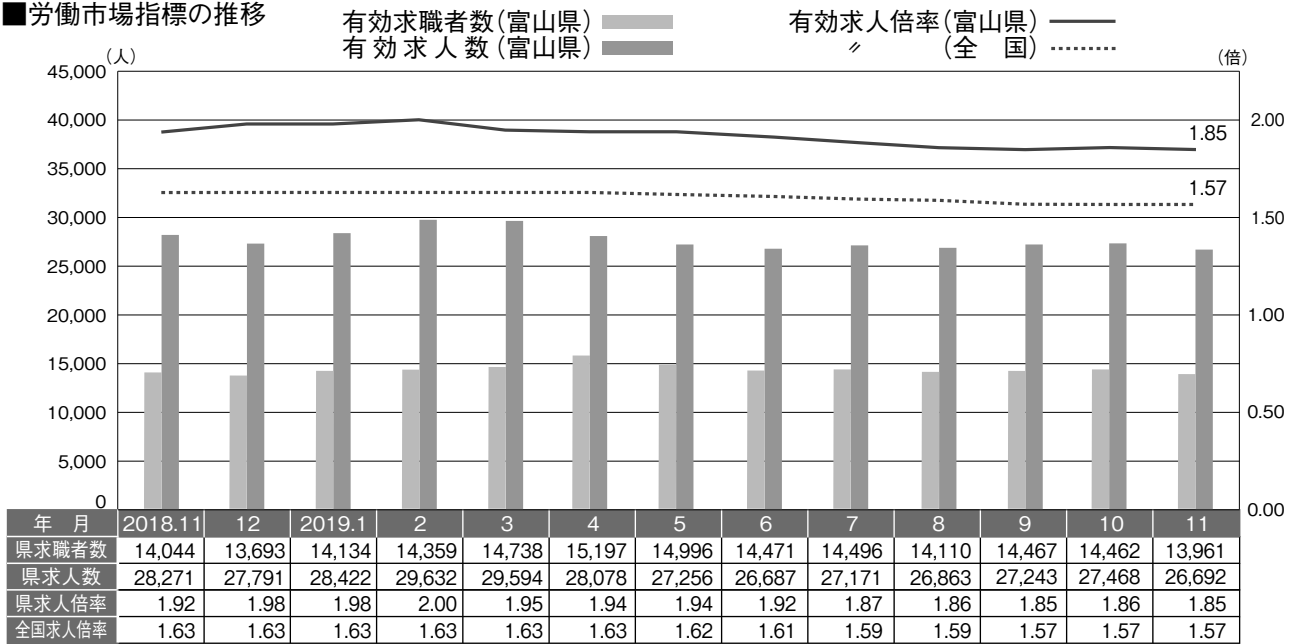
(表2) 全国大手企業の2019年冬季賞与妥結結果[単純平均]
〔最終集計—2019年12月25日〕 (一社)日本経済団体連合会

業 種	2019年 冬季		2018年 冬季		前年同期比 (%)
	社数(社)	妥結額(円)	社数(社)	妥結額(円)	
総 平 均	150	830,608 (951,411)	167	822,712 (934,858)	0.96 (1.77)
製 造 業 平 均	115	801,767 (934,825)	132	797,741 (914,993)	0.50 (2.17)
非 製 造 業 平 均	35	925,374 (997,534)	35	916,887 (991,340)	0.93 (0.62)

(注)①調査対象は、原則として東証一部上場、従業員500人以上、主要21業種大手251社
②「2018年冬季」の数値は昨年の本調査の最終集計結果である。
③「平均」欄の上段は一人当たりの単純平均、下段の()内は一人当たりの加重平均である。

労働指標

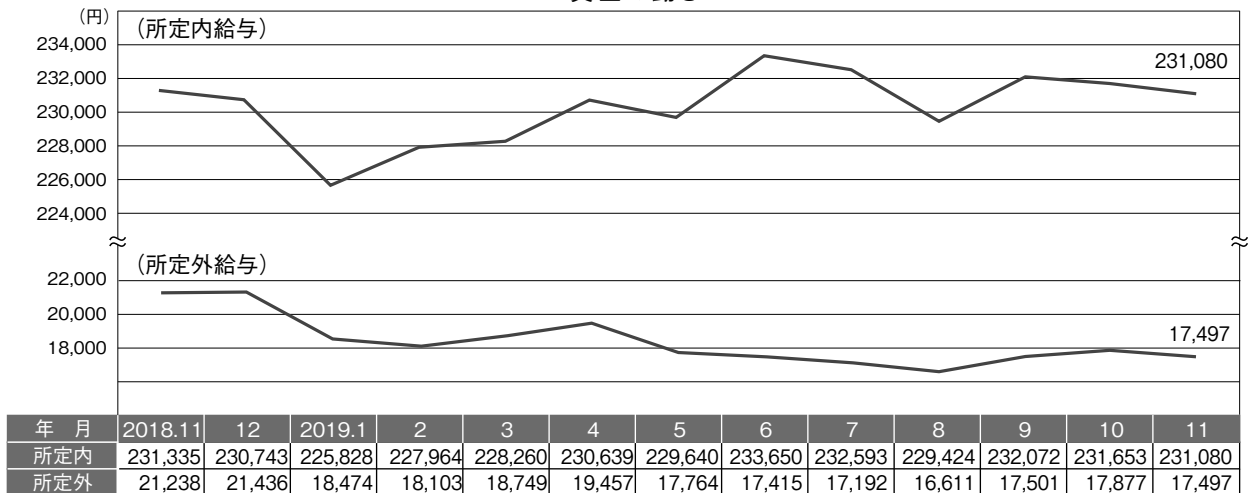
労働市場指標の推移



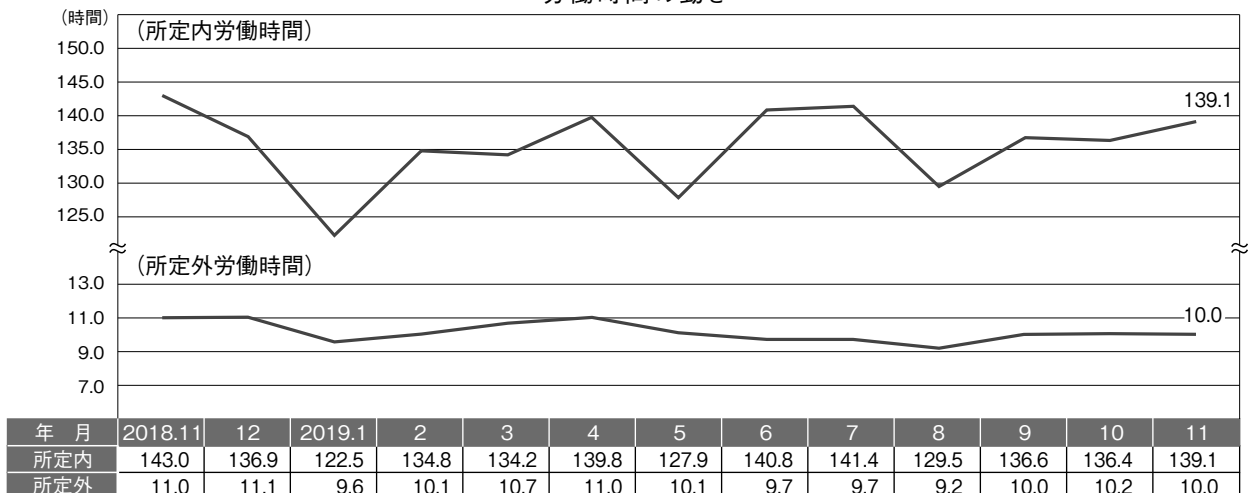
出典：富山労働局「労働市場月報」https://jsite.mhlw.go.jp/toyama-roudoukyoku/jirei_toukei/shokugyou_shoukai/toukei.html

賃金・労働時間の動き(調査産業計、事業所規模：5人以上)

賃金の動き



労働時間の動き



出典：とやま統計ワールド「毎月勤労統計調査 地方調査月報」<http://www.pref.toyama.jp/sections/1015/lib/maikin/index.html>

トップシェア支える 人づくり 主体性活かして「シン化」図る

株式会社富山村田製作所
代表取締役社長

萱原 史也 氏



世界トップシェアの部品をいくつも世に出す村田製作所（本社・長岡京市）グループの一翼を担う、富山での概要を教えてください。

圧電セラミックス応用製品の開発・量産拠点として1982年に設立し、84年に生産を開始しました。現在、セラミックスに力を加えることで電圧が発生する性質を利用した発振子「セラロック®」や、ショックセンサ、また電気を加えると伸び縮みする性質を利用した

アクチュエータを製造しています。

セラロック®は電子回路の動作基準となるクロック信号を作るもので、自動車の電子機器などにも多く使われ、世界シェアは75%です。ショックセンサは主にパソコンのハードディスク（HDD）の衝撃を感知するのに使われ、HDD向けのシェアは100%。アクチュエータはHDDの書き込みヘッドの位置を微調整する装置です。

また、セラミックスの積層技術

を応用し、樹脂多層基板「メトロサーク®」の製造も2012年から行っています。フレキシブルなため、スマホやタブレット端末などの狭いスペースに電子回路をはわせる用途に使われます。この分野も最近では競合が出てきましたが、今後飛躍する5G分野での事業拡大を期待しています。

—「未来に一番乗り」めざす—

会社ビジョンに「未来に一番乗り」を掲げていらっしゃいます。

村田製作所を創業した村田昭は創業10周年の1954年に社是を作りました。「技術を錬磨し 科学的管理を実践し 独自の製品を供給して…会社の発展と協力者の共栄をはかり これをよろこび…」というもので、現在もグループの理念になっています。CS（顧客満足）、ES（従業員満足）を価値観の最上位に置き、その中で技術を錬磨し、品質だけでなく経理やサプライチェーンなどの仕組みも含めて科学的な管理を実践し、世の発展に貢献していく。創業初期からCSRを大切にしている会社です。

富山村田でもこの理念の下、ありたい姿として2005年に「未来に一番乗り」と掲げました。技術力を高め、お客様の期待に応え、独自の技術、製品を世の中に誰よりも早く、安定して供給できる企業風土を構築したいという思いが込められています。

具体的にはどのような取り組みをされているのでしょうか。

運営方針として、新しい「事業づくり」、安定した「モノづくり」、そしてそれらを支える「基盤づくり」の3本柱を掲げています。

開発部隊が持つ要素技術を組み合わせることで、市場の要求にマ

ッチした新しい商品やサービスを作ろうというのが「事業づくり」です。最近では、新・深・進等の「シン化活動」と題し、従来とは離れた考え方を取り入れ、新しい領域にマッチする商品開発を進めようと社内に投げかけています。

2つ目は、市場の要望に応えられる「モノづくり」力の強化に取り組んでいます。特に最近では、新規事業の立ち上げから量産化するまでにもものすごく早いスピードを求められます。昨年、当社のアクチュエータが「富山県ものづくり大賞」優秀賞を頂きました。これは、HDDの大容量化に向けて部品の高精度化、小型化が求められる中で従来の3分の1のサイズを実現したのですが、開発から量産まで約1年でこぎ着けました。

そして、働き方改革にも通じますが、永続的に事業を運営できる「基盤」を整備しています。

働き方改革の取り組みについて。

働き方改革の基本は楽しく仕事ができることですが、富山の人は真面目で一人で仕事を抱え込みがちと感じます。QCサークルをはじめ、チームで支え合う環境づくりを心掛けています。

社にもあるように、50年以上前から社員のやりがいを大切に取り組んでいる企業グループです。当社でも最近では女性が育児休業中に昇格試験を受けられるようにし

たり、男性の育児休業の取得者が増加したり、色々な立場の人が活躍できるよう、周りがサポートしやすい風土になってきています。

そうしたお陰かここ数年、大学新卒者の3年離職率が0%です。

—総合力発揮し5Gに対応—

昨年4月に「モノづくり人材育成センター」を開設されました。

メトロサークの製造が始まったこの3年間で社員が600人以上増え、社是の理解やモノづくりの基礎をきちんと教育する必要性が出てきました。高岡市二上地区に設置したので、当社が統括する氷見村田製作所とハクイ村田製作所からも利便性の良い立地です。

設備を効率的に稼働するための維持やメンテナンスの教育を最優先に、「保全道場」で分解・組立を体験します。また、「安全体感道場」として設備に潜む危険や回避行動を確認する研修も行っています。

そして、新たに製造監督者向けの「製造道場」を立ち上げ、「現場改善士」を養成しています。現場の問題点の改善はこれまで、専門のIE担当者がやっていました。しかし、最近の進歩の早さに対応するには、現場の監督者が無駄や無理を検知し、タイムリーに改善していかなければいけません。

村田グループでは教育体系が充

実していますが、さらに保全技術や製造監督の改善スキルの向上などに、独自で取り組んでいます。

現場での人材育成はどのように？

QCサークルに力を入れていますが、以前から行っていましたが、成果を求めるうちにやらされ感がありました。今は、成果よりもメンバーのやる気や主体性を重視する運営方式に切り替えています。

負担が大きいリーダーは定期的に交代し、スタッフ系社員もアドバイザーとして関わるようにしたところ、自主性が引き出されてきました。2017年の全日本選抜QCサークル大会で金賞を受賞するなど、良い結果が出てきました。

今後の展望をお願いします。

5Gの実用化やAIの普及で多くの電子部品が使われます。当然競争も激しくなりますが、開発から量産まで実現する総合力を発揮し、いち早く市場にマッチした商品を送り出していきます。

座右の銘を教えてください。

田坂広志氏の著書『仕事の思想』の中に、「未来：後世を待ちて今日の務めを果たすとき」という章があります。今を一生懸命に生きた先に、未来が付いてくるといふ、この言葉を大切にしています。

会社概要

株式会社富山村田製作所

設立：1982(昭和57)年10月
所在地：富山市上野345番地
資本金：4億5,000万円
事業内容：圧電セラミックスをベースとした電子部品（圧電セラミックス応用製品）の開発・設計・生産
従業員数：1,970名(2019年9月現在)
関連会社：(株)村田製作所、(株)ハクイ村田製作所、(株)氷見村田製作所
U R L : <https://www.murata.com/ja-jp/group/toyamamura>

略歴

1957(昭和32)年8月、滋賀県東近江市生まれ。1980年金沢大学工学部卒業、(株)村田製作所入社。93年(株)富山村田製作所出向、2003年(株)ハクイ村田製作所取締役工場長。06年(株)村田製作所へ帰任し、11年八日市事業所長。14年(株)富山村田製作所取締役事業所長となり、19年から同社長。



クリーンルームの製造現場で

新春互礼会



石澤商工会連合会長
による開会



高木商工会議所連合会長の
新年挨拶



石井知事の
来賓代表挨拶



高田中小企業中央会長の
音頭で鏡開き



麦野経済同友会
代表幹事の乾杯発声



金岡会長の
中締め挨拶

1月6日(月)、富山第一ホテルで、経済5団体（当協会、富山県商工会議所連合会、富山県商工会連合会、富山経済同友会、富山県中小企業団体中央会）による新春互礼会を開催した。

来賓に石井知事はじめ各市町長、久和北陸経済連合会長、小島経済産業省中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局長、千崎財務省北陸財務局富山財務事務所長、小川日本銀行富山事務所長をお迎えし、当協会からの244名を含め総勢481名が出席した。

最初に石澤商工会連合会会長が開会挨拶し、高木商工会議所連合会会長が新年の挨拶を行った。その後、来賓を代表して石井知事より祝辞をいただき、5団体のトップや来賓がステージに上がり、高田中小企業団体中央会会長の掛け声で鏡開きを行った。麦野経済同友会代表幹事が乾杯の音頭をとり、和やかな歓談が続くなか、金岡当協会会長が中締めの挨拶を行い、散会した。



事業活動報告

2019年12月11日～2020年2月10日

	事業名	委員会名	開催日	場所	参加人数
会議	人事・労務政策委員会「定例委員会」	人事・労務政策	12月11日(水)	富山経協・研修室	27名
	総務交流委員会「定例委員会」	総務交流	12月16日(月)	富山電気ビル	14名
	経営企画IT委員会「定例委員会」	経営企画・IT	2月7日(金)	富山経協・研修室	7名
会員交流	新春互礼会		1月6日(月)	富山第一ホテル	481名
講座・セミナー	5Sと目で見る管理実践セミナー	品質管理	12月12日(木)	富山経協・研修室	51名
	管理職マネジメント研修	教育	12月17日(火)・1月15日(水)	富山経協・研修室	20名
	品質管理入門講座<実践編>	品質管理	1月16日(木)・22日(水)・23日(木) 2月5日(水)	富山経協・研修室	25名
	CS顧客満足基礎セミナー	教育	1月21日(火)	富山経協・研修室	16名
	2020年労使交渉セミナー	人事・労務政策	2月4日(火)	富山経協・研修室	21名
	次世代経営者育成セミナー ～ひと・しごとと未来創生塾～	経営企画・IT	2月7日(金)	タワー111ビル21階	5名
	企業(組織)における情報セキュリティ基礎セミナー	経営企画・IT	2月10日(月)	富山経協・研修室	17名

委員会活動

総務交流委員会

■定例委員会

12月16日(月)、矢野委員長はじめ委員14名が出席して富山電気ビルディングで開催した。矢野委員長の挨拶の後、2019年度事業実施状況報告と2020年度事業計画(案)について審議を行った。

事務局より2019年度事業について、評価と反省を含めて報告した。

2020年度は、①定例委員会の実施、②定期調査、経営課題調査の

継続実施、③会員交流事業(ゴルフコンペ、ボウリング大会、婚活支援事業)の継続実施、④企業見学会等の継続実施、⑤「2020年度版事業活動のご案内」を会員企業へ情報提供等について審議した。

指示事項として、各種調査は、調査精度の向上に努めること。ゴルフコンペは、参加者を増やす工夫をすること。婚活支援事業は、ゴールインにつながりやすい企画



を検討し成果が分かるような内容であること等が要望された。2020年度の事業計画は、指示事項を踏まえることとして承認された。

経営企画・IT委員会

■定例委員会

2月7日(金)、牧野委員長はじめ委員7名が出席して富山経協・研修室で開催した。

牧野委員長挨拶の後、2020年度事業計画(案)の審議と、次年度から新規開催するIT関連の勉強会に関して、テーマの決め方や運営について意見交換した。

次回委員会は5月18日に開催し、第1回目の勉強会を併せて行うことが決まった。

委員会終了後、当委員会が企画した「次世代経営者育成セミナー～ひと・しごとと未来創生塾～」の卒業式に委員6名が出席し、塾生5名のスピーチ(思い)と事業構想を聴講した。(概要は10頁掲載)



人事・労務政策委員会

■ 定例委員会

12月11日(水)、定例委員会に併せて富山県との共催による講演会を、富山経協・研修室で開催した。

第一部は、八十島委員長はじめ39名が出席して、(株)岡部の岡部竜一代表取締役社長と石永裕明専務取締役、富山県少子化対策・県民活躍課課長 山下章子氏が「働き方改革の取り組み～ICT、テレワークの活用～」と題して講演した。また、富山県プロフェッショナル人材戦略本部の取り組みについての紹介もあった。

第二部は、委員長はじめ27名が



第一部 講演会

出席して、定例委員会を開催した。八十島委員長の挨拶後、事務局より2019年度事業活動について今後の予定含め報告した。続いて、2020年度事業計画(案)について、定例委員会年4回、労働法実務講



第二部 定例委員会

座、労働法関連法制研究部会、メンタルヘルス部会、人事・労務管理セミナー・労務管理実務講座等を開催することが、審議の上、承認された。

講座・セミナー

■ 次世代経営者育成セミナー

地域の中核企業の次世代経営者育成を目指し、昨年9月にスタートした「次世代経営者育成セミナー～ひと・しごと未来創生塾～(第2期)」が最終日を迎え、2月7日(金)14時から、タワー111ビル21階で、塾生5名と来賓4名はじめ関係者23名が出席して、「卒塾式」が開催された。

共催のトーマツの塾長挨拶に続き、塾生全員のスピーチ発表が行われ、各スピーチでは、塾生が自身の置かれた立場に対峙し、自らの生き方や将来ビジョンに向けた決意と覚悟を熱く語った。

続いて、塾生全員による事業構想のプレゼンテーションがあり、工夫を凝らしたアイデア、着実な成長プラン、常識を打ち破る発想、グローバルな市場分析など、



自社の可能性にチャレンジする意欲に満ちた発表があった。

発表後、金岡会長から、「少子化が進み、人出不足の今後、どうやって生産性を上げるのか、経営者自身が自ら考え、勉強し、一步一步チャレンジして欲しい」と期待を込めた話があり、各塾生に卒塾証書が手渡された。

さらに、塾生に対する激励の言葉が、富山県商工労働部 堀口次長と、経営企画・IT委員会の牧



野委員長からあった。塾生を代表して、黒田化学(株)経営企画室長代理の黒田氏から5ヵ月間の研修期間中、人的ネットワーク形成ができたこと、他の塾生から熱い刺激を受けたことなど、周りの人たちの支えで卒塾できたことに対するお礼と感謝の言葉があった。

最後にトーマツ北陸事務所長の加藤氏から閉会の挨拶があり、卒塾式を終了した。

共 通

■ 企業(組織)における

情報セキュリティ基礎セミナー

2月10日(月)、17名が参加して富山経協・研修室で開催した。

(株)よしだまこと事務所代表の吉田誠氏が、①中小企業におけるセキュリティ事例、②情報セキュリティ10大脅威、③中小企業の情報セキュリティ対策について説

明。具体的な対策として、独立行政法人情報処理推進機構が作成したチェックシートを用いて自社のセキュリティレベルを確認し、現状に応じたセキュリティ対策の進め方について検討することや、同機構が作成したドラマ形式の動画も紹介し、従業員向けのセキュリティ対策の一助となることも解説



した。

■ CS顧客満足基礎セミナー

1月21日(火)、16名が参加して富山経協・研修室で開催した。

講師の羽田野正博(株)フォーワン代表取締役は、「安くて良いものを作れば売れる」というプロダクトアウトの発想を捨てて、あらゆる部門・あらゆる業務プロセスを「顧客満足・顧客価値」の視点から見直すことが、従業員のモチベー

ションを高め、企業が永続的に発展していくために必要不可欠であるとした。さらに、どうやって顧客の声に耳を傾ければ良いのか、ビジネスモデルをどのように捉えるのか、顧客価値を実現するために必要なことは何なのか、チームで価値観を共有して成果を上げるにはどうすれば良いのかなどについて、事例を元にグループで討議



し、理解を深めた。



参加者NOTES

「CS顧客満足基礎セミナー」を受講して

ゼオンノース株式会社
環境分析事業部 営業課 課長

牟田口 将史



本セミナーは、戦略的CSの基本的な考え方や「顧客満足・顧客価値」の視点から、業務プロセスの構築、見直し方を学ぶものです。日々の営業活動において、顧客満足の重要性は理解しているつもりでしたが、それが時代に即しているのか、実際の業務に活かされているのかを、今一度基礎から学び直そうと考え、受講しました。

前半の講座では、顧客満足の定義、種類といった基本的なことから、経営戦略の核になる要素、そして効果的な営業活動のプロセスに至るまで、事例を交えて分かり

易く解説していただきました。

その中でも印象に残ったのは、様々な業種の成功事例を紹介するドキュメンタリー映像です。どの事例も全てお客様のために何ができるかを真剣に考えて行動しており、ともすればやりすぎや、無駄な作業に思える活動であっても、それがお客様にとっての「満足以上の価値があるもの」につながっていくのであれば、会社として長期的な継続性のある利益確保に結びついていくということが理解できました。他業種の取り組みを知り、参考になりました。

後半のグループディスカッション(GD)では、4人ずつの班に分かれ、事業ドメイン(領域)について討議しました。顧客(誰に)、価値(何を)、実現(どのように)の観点から、課題に対して意見を出し合いました。ここで大切なことは、顧客(誰に)の部分、より明確に、具体的にすることで、価値、実現のノウハウ、アイデアが出しやすくなるということです。業種や立場が異なる方々と意見交換をすることで、新たに気付くことも多く、ディスカッションの重要性を改めて実感することができました。

今回のセミナーでは、サービスの原点を改めて認識することができました。顧客満足の向上を目指し、GDで学んだ方法を取り入れながら、会社全体で取り組んでいけるように努力していきます。

労務管理

■2020年労使交渉セミナー

2月4日(火)、「2020年春季労使交渉・協議に対する経営側の基本姿勢」をテーマに、21名が参加して富山経協・研修室で開催した。

(一社)日本経済団体連合会 労働法制本部上席主幹の酒井基博氏は、2020年の副題「Society 5.0 時

代を切り拓くエンゲージメントと価値創造力の向上」をはじめ、3つの大きな項目に沿って説明した。① Society 5.0 時代にふさわしい働き方を目指して、②2020年春季労使交渉・協議における経営側の基本スタンス、③雇用・労働分野における諸課題 等について、



懇切丁寧に解説した。

品質管理

■品質管理入門講座<実践編>

1月16日(木)～2月5日(水)の4日間の日程で、25名が参加して富山経協・研修室で開催した。

この講座は、品質管理の基本を習得し職場での活用を目指す人を対象に、QC七つ道具を利用しグループディスカッション中心に模擬改善活動を通して、職場での活用方法を学ぶ「参加型プログラム」

となっている。

講師に Office Q & M 代表 向川博氏と M & P 研究所とやま所長 竹村稔氏を招き、品質管理概論や総合的品質管理、QCのもの見方・考え方等について講義で学んだ後、自身の仕事や職場で問題となっている内容からテーマを選定し、現状把握から要因解析、対策案の立案までをグループディス



カッションを行いながら、改善活動の進め方について活発な異業種交流を通じて学んだ。

生産管理

■5Sと目で見ると

管理実践セミナー

12月12日(木)、51名が参加して富山経協・研修室で開催した。

講師の(株)日本能率協会TPMコンサルタントの金子裕行氏は、5Sの目的は、問題だと感じ、整理・整頓を行い、状態を維持する習慣を身につけた人づくり・企業体質

づくりであるとした上で、5Sを定着させるポイントとして、現場の状態が正常か異常か目で見やすく分かり、必要な手がすぐに打てる状態にする「目で見ると管理」が重要であるとした。また、グループ演習では受講者同士が自職場の写真を持ち寄り、意見交換と改善案の討議を通じて5S活動の進め方



について理解を深めた。

会員の動き

(50音順)(敬称略)

■代表者の変更(窓口代表者)

イセ食品株式会社

代表取締役社長 伊勢 彦信(前:西田隆文)

鉄道機器株式会社 富山工場

取締役工場長 永原 正己(前:横田直樹)

日本海ガス株式会社

代表取締役社長 土屋 誠(前:新田八朗)

富士フィルム富山化学株式会社 富山第一工場

執行役員 富山第一工場長 三善 隆広(前:山田亮介)

株式会社ホライズン・ホテルズ 富山ホテル事業所 (ANAクラウンプラザホテル富山)

総支配人 浅沼 源太郎(前:飯沼潔人)

■役職の変更(窓口代表者)

福光運輸株式会社

代表取締役社長 吉田 達矢(前:常務取締役)

■所在地変更

株式会社アイベック

富山市中田1丁目113-1(前:富山市上野新町5-4)



表紙の花
フィリソシンカ

(富山県中央植物園 中田政司)

英語では「蘭の木」

フィリソシンカはマメ科の植物ですが、花がフジやエニシダのようないわゆるマメ形でなく、しかも大きく美しい事に驚かされます。直径10cmにもなる赤い花は洋ランのカトレヤを連想させるため、英語ではオーキッド・ツリー（蘭の木）と呼ばれています。

和名にフィリ（斑入り）という言葉がついているので葉に斑入り模様があるのかと思われませんが、葉は緑一色で、斑は花びらの模様のことを指しています。ちなみに、葉は先が2つに割れた軍配形をしており、中国名でこの仲間を羊蹄木というのは、その形に由来します。

近縁種は香港の市の花

中国、インド、ネパールから東南アジアにかけて自生し、中央植物園では温室の植物ですが、

沖縄などでは屋外の地植えが可能です。

フィリソシンカに近縁な植物にアカバナソシンカがあって、この花は1965年に香港の市花として選定され、1997年の香港返還以降は「特別行政区」の区旗にも正式採用されています。区旗のデザインではらせんを巻くようにねじれています。実際には、写真のような左右相称の整った形をしています。

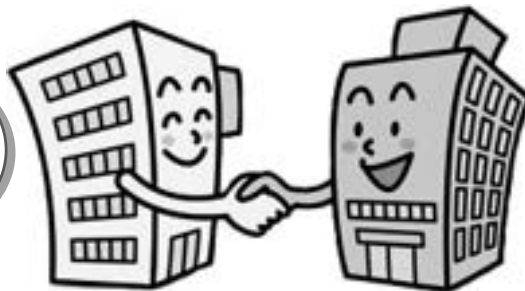
花の中心から長い5本の雄しべと、よく似た形の雌しべが1本突き出ており、この雌しべは受粉すると全体が長く平たく伸びて豆のような形になるので、確かにマメ科だと納得できます。



▲ 香港の旗

企業間の人材マッチングを支援しています。

人材が不足しており、
補充を検討
されるとき



人員に余剰感があり、
雇用調整を検討
されるとき

まっ先にご相談ください。



企業間の出向・移籍の専門機関 1987年(昭和62年)設立

公益財団法人

産業雇用安定センター

富山
事務所

〒930-0857 富山市奥田新町8-1 ボルファートとやま10F TEL 076-442-6900
ご利用時間/9:00~17:00 (土・日・祝日は休み) FAX 076-439-2860

全国ネットの人材情報
最新情報をお届けしています。 <http://www.sangyokoyo.or.jp/>

幹事会

■ 日時
3月6日(金) 16:30～

■ 場所
富山電気ビル 4階 光の間
富山市桜橋通り3-1 TEL(076)432-4111

<内容>
・2019年度事業実績報告
・2019年度正味財産増減見込み報告
・2020年度暫定予算案報告

(ご案内済み)

新入社員合同研修

～社会人としての基本と企業人としての心構えを学ぶ～

■ 日時：4月6日(月) 9:30～16:40

■ 場所：タワー111ビル 3階 「スカイホール」
富山市牛島新町5番5号 TEL(076)431-5698

■ 対象：新入社員 (第2新卒社員含む)

■ 受講料：会員 7,700円(税込) / 会員外 15,400円(税込)

■ 定員：140名(先着順)

■ 講師：(公財)日本生産性本部 山本 伸之氏
経営コンサルタント
(株)コトノハ代表 廣川奈美子氏
島崎社会保険労務士事務所所長 島崎裕美子氏
(一社)富山県経営者協会副会長 八十島清吉氏
(株)タカギセイコー代表取締役会長

事業予定

2020年2月16日～4月15日

詳しくはホームページ(<https://www.toyama-keikyo.jp/>)
「講座・セミナー案内」をご覧ください。

	開催日	時間	事業名	委員会名	場所
議	2月26日(水)	14:00～16:00	品質管理委員会「定例委員会」	品質管理	中越合金鋳工(株)
	2月27日(木)	15:00～17:00	人事・労務政策委員会「定例委員会」	人事・労務政策	タワー111ビル 4階ギャラリー
	2月28日(金)	14:00～16:20	教育委員会「定例委員会・教育制度見学会」	教育	三菱ケミカル(株)富山事業所
	3月6日(金)	15:00～16:00	連合富山役員と富山経協役員との懇談会		富山電気ビル
	3月6日(金)	16:30～	幹事会 上記「お知らせ」参照		富山電気ビル
	3月6日(金)	17:30～	理事会		富山電気ビル
講座・セミナー	4月7日(火)	15:30～17:00	品質管理委員会「幹事会」	品質管理	富山経協・研修室
	2月19日(水)	13:30～16:00	労働法実務講座<第4回>	人事・労務政策	富山経協・研修室
	2月20日(木)	9:30～16:30	購買管理実践セミナー	教育	富山経協・研修室
	2月25日(火)・26日(水)	9:30～16:30	職場リーダー実践コース	教育	富山経協・研修室
	3月10日(火)	9:30～16:30	若手社員ステップアップコース	教育	富山経協・研修室
	3月12日(木)	13:30～16:30	改善レベルアップセミナー(業務改善・応用編)	教育	富山経協・研修室
	3月17日(火) 4月14日(火)	9:00～17:00	管理職マネジメント研修	教育	富山経協・研修室
	3月18日(水)	9:30～16:30	若手社員ステップアップコース [追加開催]	教育	富山経協・研修室
	4月6日(月)	9:30～16:40	新入社員合同研修 上記「お知らせ」参照	教育	タワー111ビル スカイホール
4月9日(木)	9:00～17:00	品質管理入門講座<基礎編>	品質管理	富山経協・研修室	

「富山経協」vol.852

2020年(令和2年)2月号
2020年2月15日発行(隔月発行)

一般社団法人 富山県経営者協会

〒930-0856 富山市牛島新町5番5号(タワー111ビル 1階)
TEL (076) 441-9588 FAX (076) 441-9952

ホームページ <https://www.toyama-keikyo.jp/>
Eメール info@toyama-keikyo.jp